

資産up↑につなげる 相続の奥義

第1回 節税対策は「総合格闘技」から学べ

節税目的のアパート建築は、言い換えれば不動産投資で、実にさまざまリスクがつきまとう。弁護士であり、不動産オーナーでもある堀鉄平氏は、リスクを想定した相続税対策を得意とする。今回は堀氏の考え方を紹介したい。

——「相続税は総合格闘技」とは、奇抜な文句を掲げましたね。相続対策とどのような関係が？

堀 格闘技は危険なスポーツです。私は格闘家として眼窩底骨折による手術を2度経験しています。資産家の方が相続対策と称して不動産投資をしている過程は、いつ大怪我をしてもおかしくないという点で、総合格闘技と状況は同じということ

リスクだらけの選択肢にご用心

は、リスクを最小限に抑えて、確実に勝利につなげる戦略をとってきました。相続対策においても、資産のバリエーションを自指したければ、リスクを抑える戦略をとる必要があります。

——試合では、どんなリスクがありましたか。

堀 最終ラウンド半勝敗を左右する様々な戦略をとりますが、私に優勢な選手が、あえて最後まで攻め続けて痛恨の逆転負けを喫する姿をよく目にします。観客が喜ぶと思っ

てリスクのある打ち合いをしているのです。が、私はそのような戦い方はしません。私ならば、判定勝ちを確信しているならば、それ以上のリスクは負わずあえて寝技で膠着さ

せ、効かない打撃を加えるにとどめ、そのままタイムアップを待ちます。

——相続税対策を資産アップの好機ととらえるならば、当然リスクを想定した戦略を練らねばならない、ということですね。

堀 はい。資産家が相続対策として実行しているアパート建築やマンション購入などは、言い換えれば不動産投資。リスクだらけという点では、総合格闘技に引けを取りません。例えば、購入した不動産が値下がりするリスク、空室のリスク、修繕のリスクなど、資産価値を下落させるさまざまな要因が横たわっています。

——相続対策をしたい地主は具体的にどうすればいいですか。

堀 投資を成功させるには、「節税効果」のほか、「投資リターン」「各種リスク」の3点セットで検討しなければなりません。来月から投資判断の一助となるような考え方や事例を紹介していきます。



弁護士法人Martial Arts (マーシャルアーツ) 代表パートナー 弁護士・堀鉄平

資産アップにつながる相続税対策を得意とする。累計実績は30件以上。計2棟5戸のビル・マンションを5年間運営している。弁護士、不動産オーナーとして活動する傍ら、格闘家としての顔を持つ。前田日明氏主催の総合格闘技イベント「THE OUTSIDER」で、2008年3月から7年にわたり参加している。戦績は、プロ・アマ通算14勝11敗3分け。